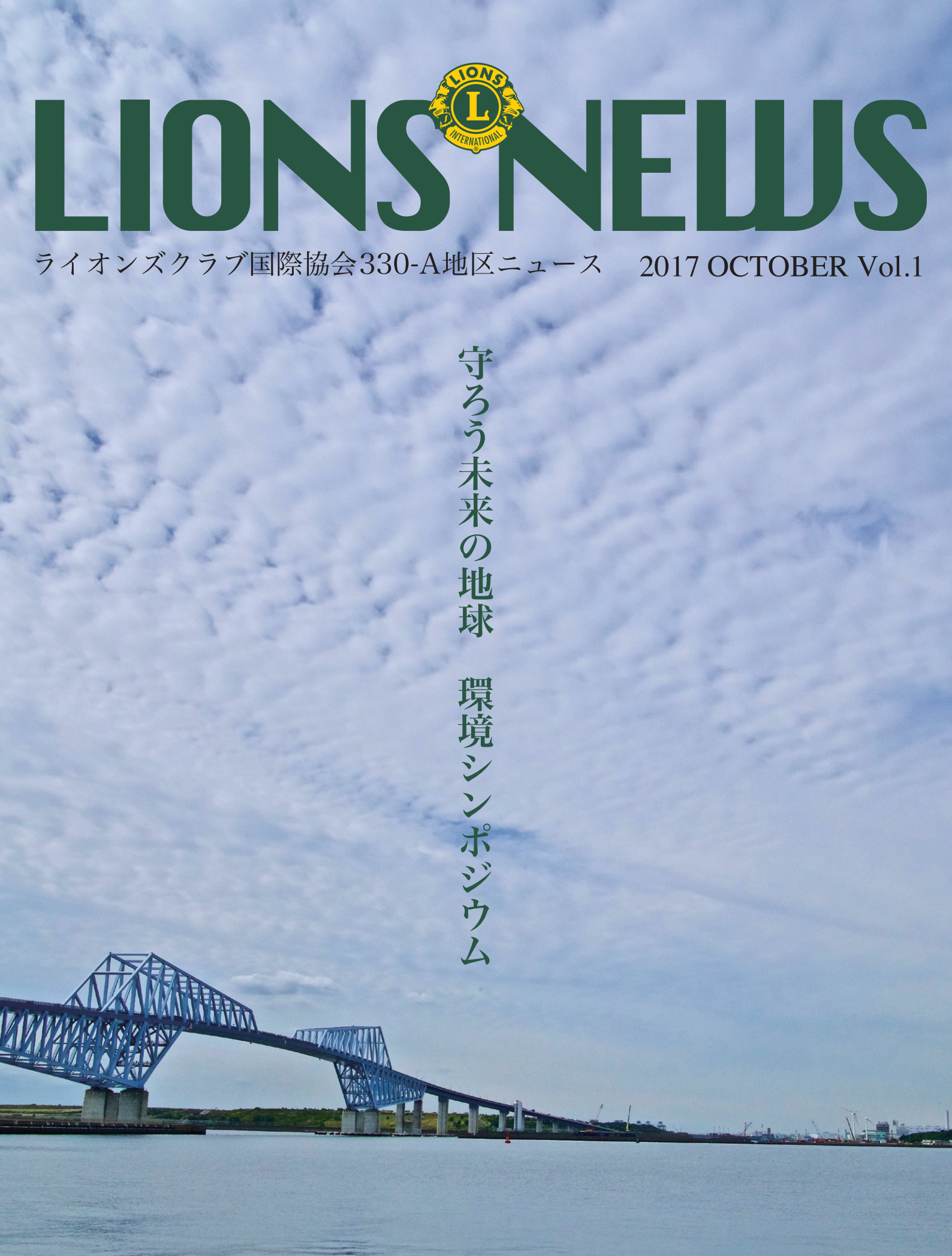
LIONS NEWS

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ニュース　2017 OCTOBER Vol.1

守ろう未来の地球　環境シンポジウム



ガバナー公式訪問

9月4日(月)開催の10Rを皮切りに、細川孝雄ガバナーによる各リジョン合同例会への公式訪問(全14回)がスタートした。いずれのリジョンにおいても、終始和やかな雰囲気の中、次なる100年への力強い一歩にふさわしい公式訪問となった。(各リジョンの詳細報告は330-A地区のホームページにてご覧下さい)。

《事前懇談会》

合同例会にさきがけて、各クラブの会長・幹事が一同に会し、今期の運営方針や目標を共有する事前懇談会が開催された。はじめに細川孝雄ガバナーより、100周年記念奉仕チャレンジや国際会長のテーマについての説明、続いて今期の運営方針、とりわけ環境問題への強い関心や、会員増強目標(1,000名増員)等が示された。次に、12月1日(金)公演予定　フジコ・ヘミング　コンサート案内や国際会長の歌唱の映像が流された後、10月7日(土)に開催がせまった「環境シンポジウム　守ろう!未来の地球」の説明があった。また各クラブの会長らから、自クラブの会員増強に向けた具体的な施策や環境シンポジウムおよびフジコ・ヘミング　コンサートに対する取り組み等が発表されたほか、細川ガバナーと各クラブ会長幹事との懇談も活発に行われ、大変有意義な懇談会となった。なお細川ガバナーからは、8月末に行われた「よさこい祭り」で十数名の新規会員を獲得したという嬉しい成果も報告された。

≪第一部　式典≫

各リジョン・チェアパーソンらからの歓迎挨拶に続き、細川ガバナーは、今期運営方針として① 100 周年記念誌の発刊、②環境問題（気象異常・温暖化対策）への取り組み、③東日本・熊本震災復興の継続支援、④会員相互の和（人との繋がり）、を挙げ、330-A 地区最高の年になるよう努力することを誓い、挨拶とした。特に環境問題に関しては、アメリカのハリケーンやインドの異常気温等の事例をあげ、決して軽視してはいけないと強く訴えた。また 100 年奉仕チャレンジについても、「視力」「青少年育成」「飢餓」「環境」の４つの事業に「小児ガン・糖尿病」が加わったことに言及し、次の 100 年を目指してさらなる一歩を！原点に戻ってＷｅ　Ｓｅｒｖｅ！働きかける勇気を持ちましょう！と呼びかけた。
その後、細川ガバナーから各クラブへの公式訪問記念品および目録贈呈、新入会員一人ひとりへのラペルピン贈呈、LCIF ＄1,000 献金者への記念品贈呈が行われた。
リジョンによっては、さらに各クラブからの記念アクティビティ発表等も行われ、式典は閉会となった。

≪第二部　懇親会≫

第１副地区ガバナーＬ今井文彦と第２副地区ガバナーＬ伊賀保夫の挨拶に続き、Ｗｅ　Ｓｅｒｖｅ！の乾杯で懇親会がスタート。中盤にはガバナー以下、来賓・地区役員・関係者が各テーブルを回り記念写真撮影を行った。なおリジョンによっては、歌や楽器演奏等、趣向を凝らした歓迎パフォーマンスが披露されたが、５Ｒでは当日誕生日を迎えた細川ガバナーにサプライズでケーキとプレゼントが贈られた。最後は各リジョンとも、ライオンズロアーに続き、大きな輪で「また会う日まで」。盛会のうちに幕を閉じた。

INDEX

表２ ── ガバナー公式訪問
０２ ── 環境シンポジウム
０４ ── クラブアクティビティ報告
１０ ── GAT 座談会＆インタビュー
１３ ── 委員会だより
１４ ── YCE 関連報告
１５ ── LCIF ＆ 会長会
１６ ── クラブアクティビティ報告
２０ ── クラブ周年行事
２２ ── キャビネット関連報告・委員会セミナー等

守ろう！未来の地球「環境シンポジウム」

パネルディスカッション

10月7日（土）9：30～11：30に細川孝雄ガバナーメインアクティビティ「環境シンポジウム」を国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールで開催した。約600名の登録があり、当日はあいにくの天気であったが大勢の方に来場頂いた。
環境大臣・中川雅治先生、東京大学名誉教授・山本良一先生の基調講演では、異常気象の事例説明、環境問題への提唱や環境活動事例もご紹介頂いた。パネルディスカッションでは「ライオンズクラブがこれからすべき環境活動について」をテーマに討論された。
「今回のシンポジウムが、ライオンズクラブの今後の環境活動へ積極的な取り組みの一助になったと感じ、大変うれしく思っています。今回のシンポジウムの成功にむけて、環境委員会は佐藤委員長と委員が一致団結して取り組みました。このシンポジウムを成功裏に開催できたこと、皆様に心から感謝申し上げます。」　委員会メンバー一同

報告：環境委員会副委員長　L中川喜美枝

シンポジウム関係者、環境委員会メンバー

＜シンポジウムでの講演資料＞

1）中川環境大臣講演資料 2017.10.07（PDF）
2）2017.10.7_環境シンポジウム講演資料_山本先生（PDF）

（地区ホームページ　http://330a.jp/ の右側メニュー、「環境シンポジウム」ページより参照可）

受付の様子

中川雅治環境大臣

＝中川環境大臣の講演要旨＝

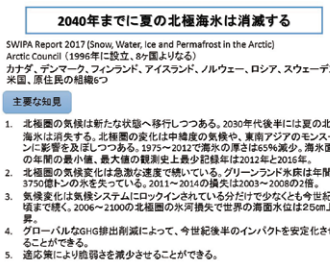
日本はよく環境先進国、環境立国であると言われ、また日本は優れた環境技術を持つ環境優等生であると考えられていた。しかしながら今やその辺が怪しくなってきた。10月4日より3日間、日経新聞に連載された「環境後進国ニッポン」という記事を読めばわかるように、世界で急激に進むパラダイムシフトから取り残され、太陽光や風力といった再生可能エネルギーの普及や産業構造の転換が遅れ、優れた省エネ技術や公害対策などで「環境先進国」といわれた日本の自画像は大きく揺らいでいる。今ここで国民が頭を切り替えて危機意識を持ち、再び環境問題に取り組まなければならない。

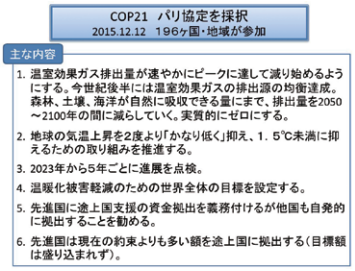
ライオンズクラブの皆様にも、ぜひこのことを理解いただき、日本が再び「環境先進国」と呼ばれる国になるようにご協力をいただきたい。

東京大学名誉教授　山本良一先生

＝山本先生の講演要旨＝

まず、人間活動が地球全体に広がることによって深刻な環境問題、特に地球温暖化、気候変動が生じていることを説明した。次にこれらの地球的危機を突破するには、ローマ法王が指摘されているように環境的回心が必要であること、貧しい人々や将来世代、他の動植物に積極的に配慮して地球環境に深く感謝した生活をしなければならないことを話した。そのためにはエシカルな製品の開発、エシカルな消費がとても大事になってきていると力説、エシカル消費の具体例、それから日本でもエシカル消費の全国運動が巻き起こっていることを紹介した。





写真撮影：広報情報委員会

今や世界的な問題となっている地球温暖化現象ですが、私たちの暮らす日本にも地球温暖化は様々な影響を与えています。環境シンポジウムにおいて環境問題の提唱や環境活動事例が紹介されました。

とても一日で消化できるものではありませんが、このシンポジウムがライオンズクラブの今後の環境活動への積極的な取り組みの一助となることを祈念いたします。

環境委員会委員長
Ｌ佐藤　剛

クラブアクティビティ報告

奉仕活動の原点であるクラブアクティビティをご紹介致します。
魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。

第8回「こいこいパーティ」in武蔵野スイングホール

テーマ:社会福祉・障がい者支援
於 武蔵境スイングホール

12R1Z東京武蔵野LC　6/3(土)

2017.6.3.(土)11 時～武蔵境スイングホールにて第８回「こいこいパーティ」が開催された。参加者約 150 名。主催：12 R 1 Z東京武蔵野 LC、協力社会福祉法人 武蔵野。
知的障害者の皆さん、保護者の皆さんとの音楽パーティ。音楽やゲーム、食事を一緒にして楽しく過ごすことを目的としている。ゲストには歌手の「ナツメグ」のお二人と東京農工大学ジャグリングサークル@ｉｕｇ、民族楽器アーティスト入江規夫さんが出演した。会場は、拍手、大合唱で大いに盛り上がった。客席から舞台、コンサートへ気軽に参加できる雰囲気作りをしている心優しいアクティビティだった。
（レポート：東京武蔵野 LC　L 吉田宗一郎）

薬物乱用防止教室

テーマ:薬物乱用防止
於 町田市立小山田中学校

12R2Z東京町田クレインLC　6/8(木)

６月８日（木）町田市立小山田小学校に於いて､6 年生 83 名を対象に「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止教室」を開催しました。当クラブより、川越講師・瀧沢委員長・樋口会長・小林幹事の４名で奉仕して参りました。
今回も DVD とパワーポイントを使用した講義に子供達も熱心に耳を傾け、薬物乱用の恐ろしさを十分に理解していただけた様子でした。
最後に「ダメ。ゼッタイ。」を子供達と一緒に３回復唱し、終了しました。
本年度は市内の小中学校において、計５回の開催で主要アクテビティとして、子供達の明るい未来を守っていくべく、一役を担い責任を果たして参りたいと思います。
(レポート：東京町田クレインLC　幹事　L小林直人)

ホタル鑑賞の夕べ

テーマ:環境保全
於 清瀬金山緑地公園

13R2Z東京清瀬 LC　6/10(土)

清瀬市内にある、約 20,000 ㎡の清瀬金山緑地公園は、四季を通じて、市民の憩いの場として親しまれています。園内には滝から落ちる清い水が小川となり種々の樹木やクマザサ等の各種野草があり、それらの自然環境を守るため、当クラブでは 1989 年より園内でホタルの育成を行っております。

毎年６月初旬には市と協力し、成長したホタルを観賞するイベントとして「ホタル観賞の夕べ」を行っております。今年は市内外から 3,000 人以上の老若男女が訪れ、500 部用意した当クラブ作成の「ホタルの一生」のパンフレットがあっという間になくなりました。清い流れの上方を乱舞するホタルの光に、小川の周りを何重にも囲む人々から、大きな歓声と拍手が聞かれ、写真に収める方々も多く出席メンバー全員満足顔でした。ブラザークラブの方々もお見えになり「感動した」とおっしゃり、一同感謝しております。
（レポート：東京清瀬 LC 理事 L 福嶋章吾）

献血奉仕当番

テーマ:献血
於 町田献血ルーム

12R2Z東京町田クレインLC　6/30(金)

6月30日（金）町田献血ルームおよび町田駅周辺にて、本年度最終日に献血奉仕当番という巡り合わせで小雨の中、樋口会長、佐藤献血委員長はじめメンバー7名で、市民の皆様に献血のご協力の呼びかけを行いました。

月末のお忙しい状況の中でもお声掛けに耳を傾けてきただき、「ご苦労様、頑張ってね！」のありがたいお言葉を賜り、気持ちよく最後のアクティビティを終えることが出来ました。来期も継続事業として、少しでも日本赤十字さんのお力添えが出来ればと思います。

(レポート：東京町田クレインLC　幹事　L小林直人)

中央区ジュニア剣道大会

テーマ:青少年健全育成
於 総合スポーツセンター

2R2Z東京銀座LC　7/2(日)

シカゴで国際大会開催中の7月2日、第40回中央区ジュニア剣道大会が浜町の総合スポーツセンターで行われました。この大会は銀座LCの長年のメインアクティビティとして行われているものです。今年の大会は特に参加者が多く、開会時間を早めて開始いたしました。

3時間を超える熱戦の末、小学校3・4年生の部、5・6年生の部、中学生の部、そして団体戦の表彰式を行いました。

数多くの剣士たちの日ごろの練習の成果と鍛錬の結果を見ることができ、猛暑を乗り切る活力をいただきました。

(レポート：東京銀座LC　第二副会長　L宇田英樹)

献血奉仕活動

テーマ:献血
於 新宿西口献血ルーム

11R2Z東京新宿LC　7/4(火)

東京新宿LCは、役員改選後初めて7月4日（火）14：00～15：00新宿駅西口「日本赤十字社献血センター」前で献血奉仕活動を行なった。中井正力会長、田邊浩嗣幹事の新体制になって初めてのアクティビティである。暑さの中、門出を祝って14名が参加。中井会長、田邊幹事は率先し、メガホン片手に通りを急ぐ人びとに呼びかけた。

各自工夫を凝らし声を張り上げた。ビジネスマン、海外からの観光客、高齢者が目立つ。その時「私は献血できますか？」と献血手帳を見せる若者は、何と6月にも献血していた。献血は3ヶ月の間隔が必要であるため丁重にお断りした。

開始後20分過ぎ、ようやく2人、3人と申込者が訪れ始め、お互い思わず顔を見合わせた。満足のいくアクティビティであった。

(レポート:東京新宿LC 第一副会長　L伊藤春雄)

氷彫刻大会

テーマ:災害支援
於 上野公園

6R2Z東京上野LC　7/9(日)

上野公園にて氷彫刻大会が開催され、東京上野 LC は協賛しました。　34 度を超える暑い中、選手たちは日ごろの腕前を競い合い、氷の芸術でつかの間の涼を呼び込みました。また当日は飲料の販売と、先日甚大な被害を及ぼした九州北部豪雨災害への募金活動を行いました。　募金額　42,560 円と飲料販売の売上額の一部を被災者に届けたいと思います。

YCE 生の受入れ

テーマ:青少年健全育成
於 ホストファミリー

10R2Z東京玉川LC　7/9(日)～ 8/9(水)

東京玉川 LC では昨年度より積極的に YCE 生のホストファミリーを受けている。今夏もアメリカ・テキサス州からの 16 歳の生徒を預かった。様々なクラブへ例会訪問したほか、ホストファミリーと箱根へ家族旅行をしたり、日本の若者が集う場所を尋ねたり、日本の伝統文化を体験するなど充実した日本の生活に満足していたようだ。東京玉川 LC ホームページ内の下記 URL からスライドショー版のレポートをダウンロード・閲覧できる。
http://www.tamagawa-lionsclub.com/YCE%20Stephani_JP2.wmv
（レポート：東京玉川 LC　会長　L 馬場久雄）

九州豪雨災害支援＆４名の入会式

テーマ:災害復興支援
於 日枝あかさか

2R3Z東京山王LC　7/10(月)

７月 10 日の例会にて、新会員４名の入会式を行いました。スポンサークラブである東京石泉 LC の伝統的な入会式に習い、真っ暗な会場にロウソクの火と一緒に入場。「ライオンズの光」を朗読し、新入会員の誓い、スポンサーの誓いもあり、とても厳かな雰囲気の入会式となりました。九州豪雨災害の支援金を１０日の例会で募り、一番被害の酷かった福岡県朝倉市で活動している朝倉 LC へ直接送金することに致しました。
朝倉 LC の会長のお話では、メンバーの中にも家屋全壊などかなりの被害を受け、避難所生活の方もいらっしゃるとのことでした。今回 162,500 円を朝倉 LC に送金しました。
（レポート：東京山王 LC　会長　L 大川あつ子）

「クラブアクティビティ・委員会報告、告知の投稿方法：６つのステップ」

330-A 地区ホームページから投稿することができます。

① ホームページのメニューから「投稿」をクリック
② 名前⇒メールアドレス⇒R,Z, クラブ名⇒役職⇒区分（アクティビティ、委員会など）入力
③ タイトル⇒実施日⇒本文（300 文字程度）記入
④ 写真を添付（6 枚まで）。1 枚当たり 1MBの大きさまで。
⑤ ファイル（参考資料など）を PDF で添付できます。　⑥ 画像認証して⇒配信ボタン

なお、ホームページには審査の上、漏れなく掲載されますが、地区ニュースには紙面の関係上掲載されない場合がありますのでご了承下さい。投稿をお待ちしております。広報情報委員会一同

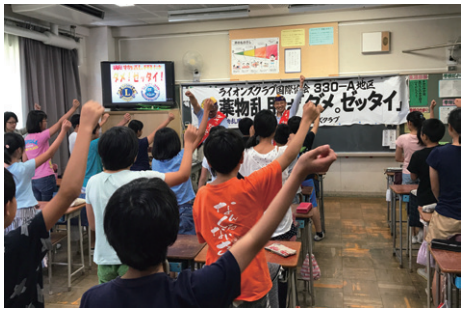
薬物乱用防止教室

テーマ:薬物乱用防止
於 国立市立第三小学校

13R1Z東京国立 LC　7/10(月)

7月10日、国立市立第三小学校6年生、97名を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。子どもたちに、なぜライオンズが薬物乱用防止教室を行なっているのか、薬物乱用の恐ろしさについてなどを熱心に伝えると子どもたちも真剣に耳を傾けていました。また、講習後には子どもたち全員で「ダメぜったい」の誓いを力強く行いました。

(レポート：東京国立LC　会長　L大和祥郎)



九州豪雨災害支援募金

テーマ:災害復興支援
於 西葛西駅前

5R2Z 東京江戸川南 LC　7/11(火)

7月11日（火)、7月5日からの大雨による九州北部各地での災害の支援緊急募金を西葛西駅前にて行いました。

当日は大変な暑さの中、午後1時30分より設営を開始し、午後8時30分までの7時間にわたり行いました。

第5R第2Zの江戸川LC、江戸川中央LC、江戸川東LC、江戸川なでしこLCの皆様、また江戸川区内のボーイスカウトからも多数の応援に来ていただき、第2Z全クラブの皆が汗を流し、一致団結し、力を合わせて、募金活動を行うことができました。

集まった募金金額948,548円は、福岡の朝倉LCに即日送金しており、お役に立てていただきたいと思っております。

(レポート：東京江戸川南LC　会長　L硯川俊浩)

九州北部豪雨災害募金活動

テーマ:災害復興支援
於 浅草雷門前

6R1Z合同　7/16(日)

7月16日(日)観光客で賑わう浅草雷門前にて6R1Z合同の九州北部豪雨災害募金活動を行った。6R1Zゾーンチェアパーソン L宇田川 孚の要請を受けて実施されたこのアクティビティだが、当日は猛暑にも拘わらず多数のメンバー・ビジターが参加した。まだ、発生から日の浅い九州北部豪雨災害に観光客の関心の高さを感じた。メンバーらの熱心な声がけの結果、募金金額は１７２,６６８円となった。メンバーらは早速、現地災害復興支援のため募金をドネーションしようと皆意気込んでいた。

(レポート：広報情報委員会)

九州北部豪雨災害支援募金活動

テーマ:災害復興支援
於 国立駅前

13R1Z東京国立 LC　7/21(金)

2017年7月21日、東京国立LCでは、国立駅前にて7月5日から発災した九州北部の豪雨災害の支援街頭募金を行いました。

短い時間でしたが、道行く皆様から「頑張って下さい、少しですが、役立てて下さい。等」数々の支援のお言葉と災害見舞金を頂きました。ありがとうございました。

皆様からお預かりした、災害見舞金51,322円は、330-A地区九州北部豪雨災害支援金口座を通じて現地へお渡しさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(レポート：東京国立LC　会長　L大和祥郎)

九州北部豪雨災害支援金募金活動

テーマ:災害復興支援
於 三軒茶屋交番前

10R2Z 東京世田谷 LC　7/22(土)～7/23(日)

7月22日(土)、23(日)の2日間、三軒茶屋交番前、茶沢通り商店街にて「九州北部豪雨災害支援金募金活動」を行いました。日中の暑い中、メンバー、メンバー家族、青年会議所メンバーにもご協力いただき実施し、両日とも2時間ずつと短い時間でしたが、暖かいご支援を多く頂けました。暑い中大変でしたが、温かい心に触れることができ、参加者も癒されたでしょう、ありがとうございました。

皆様からお預かりした支援金は、地区の集約口座を経て、現地へお届けさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(レポート：東京世田谷LC　会長　L大竹良雄)

九州北部豪雨災害支援金募金活動

テーマ:災害復興支援
於 小田急線鶴川駅北口改札前

12R2Z東京町田クレインLC　7/25(火)

小田急線鶴川駅北口改札前にて、九州北部豪雨災害の支援金募金活動を行いました。蒸し暑い午後5時、帰宅時間に合わせて開始。午後6時ごろに帰宅のピークを迎える。今回のこの募金活動のタイミングは、災害発生時から少し時間が経ってしまった感があったが、多くの方々からご支援を頂く事が出来た。本当にありがとうございました。これから夏本番・台風シーズン到来！天候不順の今日この頃、災害発生が心配です。

(レポート：東京町田クレインLC　会長　L志村容一)

あやめちゃん心臓移植の為の募金活動

テーマ:献腎・献眼
於 西葛西駅前

5R2Z東京江戸川南 LC　7/27(木)

7月27日（木）東西線西葛西駅前で、LCメンバーである佐々木幸輔Lの娘あやめちゃんがアメリカで心臓移植を受ける為の募金活

動を実施しました。江戸川南LCが呼びかけと活動の中心となり、江戸川なでしこLC早川和江会長をはじめ第5R第2Zの5クラブ（江戸川LC、江戸川南LC、江戸川中央LC、江戸川東LC、江戸川なでしこLC）が一致団結し、力を合わせて募金活動を実施することができました。
江戸川区周辺の方々の温かい気持ちのおかげで、947,720円の募金をお預かりしました。
この募金は即日「あやめちゃんを救う会」に振込させていただきました。
あやめちゃんが一刻も早く心臓移植を受け、

元気な姿に戻ることを願うばかりです。
（レポート：東京江戸川南LC　会長　L硯川俊浩）

家族納涼例会を大いに楽しむ！

テーマ:納涼例会
於 吉祥寺東急REIホテル

12R1Z東京三鷹 LC　8/3(木)

会員交流委員会にとって今年最初のアクティビティである家族納涼例会が吉祥寺東急ＲＥＩホテル3階「むさしの」で盛大に行わ

れた。今季会員32名でスタートした東京三鷹LCにとっては「会員親睦と会員増強の場」。「ハワイアンとフラダンスの夕べを楽しみましょう！」をテーマに当日を迎えた。当日は会員とゲスト（友人・夫人）を合わせて42名、子供たちが13名、合計55名が参加した。男性はアロハシャツ、女性も着物やムームー姿で、子供たちは浴衣姿で納涼例会の場を盛り上げた。子供たちは景品付きの射的、スマートボール、ヨーヨーの縁日を大いに楽しんだ。最後に子供たちは沢山のお土産を、ご婦人た

ちはハイビスカスのお花を持ち帰り、楽しい思い出と日頃のメンバーたちのライオンズ活動を理解して頂く一助になったことと思う。
（レポート：東京三鷹LC
会員交流委員会委員長　L窪田直隆）

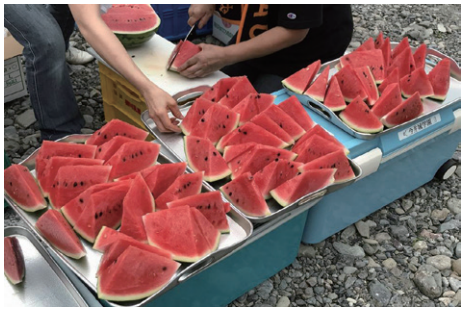
夏の想い出づくり（児童養護施設の子どもたち）

テーマ:青少年健全育成
於 多摩地区

1R2Z東京ピースLC　8/4(金)

夏が来れば思い出す、子どもの頃の夏休みの記憶。虐待などの理由があり親と離れて生活をしている児童養護施設の子供達と夏の思

い出づくりのお手伝いしました。子どもたちと職員さん総勢80人で川遊び、バーベキューにスイカ。子どもたちは、最初は少し恥ずかしがり屋で、最後はとても甘えん坊で、帰りには「また来てね、また遊ぼうね」と手を握ってくれました。
子どもたちにはたくさんの愛情と教育が必要です。子供達は未来をつくる宝物ですね。



（レポート：東京ピースLC
アクティビティー実行委員長　L今泉大輔）

GATインタビュー

現在、ZC・RC ≒各クラブの代弁者、地区コーディネーター≒相談相手として大まかに理解されておりますが、各クラブの方々まではまだ浸透しておらず、分かりにくい側面もあります。
そこで今回は、今年度からスタートした、グローバル・アクション・チーム（GAT）を構成するGLT・GMT・GST・FWT の各コーディネーターの役割について、地区メンバーの皆様にご理解いただくために座談会＆インタビューを実施しました。
（GAT に関する詳細はライオン誌日本語版 10 月号 27 ページ 国際理事だよりをご参照ください。）

GAT 座談会（9 月 5 日）キャビネット事務局会議室

L 佐原）　本日はお集り頂きありがとうございます。
まずは GST コーディネーター進藤 L から GST の役割のご説明と抱負をお願いできますか。

L 進藤）　皆さんこんにちは。今期 GST を拝命しました L 進藤です。グローバルアクションチーム（GAT）に初めて入ったグローバルサービスチーム（GST）という奉仕にかかわっていくチームということになります。
前 LCIF 山田理事長の話ですと、各クラブに対して地域と関わりながらよりよき奉仕活動を探してもらうことが役割です。例えば 100 周年の記念奉仕チャレンジやレガシープロジェクトを進めよう。糖尿病、小児がん、飢餓、環境、視力、GLT と協力しながら奉仕の専門技術を高めるワークショップを進める、指導力育成や会員増強にも取り組む、さらに MyLCI で報告を増やしてください、ということも期待されているようです。
また、今国際協会で LCI アプリが開発されていて、日本でも来年度から導入されるので LCI アプリを気軽に使っていただけるような啓発をしていくことなども GST の役割です。つまり、いろいろなところと関わりあいながらより良い奉仕を探していくことが役割です。

L 佐原）　ご自身の具体的な活動は計画していますか。

L 進藤）　GAT は始まったばかりですが、各クラブのコーディネーターの皆さんと情報交換し、関連する委員会と

（写真右）地区 GST コーディネーター　L 進藤義夫（東京世田谷 LC）
（写真左）地区 GMT コーディネーター　L 橋本光祥（東京豊新 LC）

情報交換し、両方向から周知徹底していければいいと思っています。

L 佐原）GMT コーディネーター橋本 L お願い致します。

L 橋本）まずはグローバルメンバーシップチーム（GMT）の略です。９月２０日に第一回目の複合 GMT 会議がありますが、会員増強が第一の課題であると承知しています。地区の会員増強委員会に早速出席しましたが、当委員会独自のアワードを利用した会員増強など新しい企画を考え 1,000 名の会員増強を目標に会員増強員会が頑張っているので、私も他地区から情報提供などをさせて頂きながら協力していきたい。その他の関連委員会としては女性参画レオライオネス委員会とエクステンション委員会であります。女性会員を増やすため、また一つでも多くのクラブが作れるようなお手伝いができればいいと思っています。

地区 GLT コーディネーター
L 佐久間洋一（東京駿河台 LC）

L 佐原）今後の具体的な活動予定はいかがでしょうか。

L 橋本）只今、模索中でありますが、先ずは会員増強委員会が企画しています 10 月 30 日のセミナーお手伝いをしながら、先ほど申し上げた関連委員会の会議に参加して３委員会がコラボ出来るような事柄を探し、それぞれのお役に立てればと考えております。

L 佐原）GLT コーディネーター L 佐久間お願いします。

L 佐久間）GAT のグループの中のコーディネーターであり、各クラブと地区とのパイプ役だと理解しています。具体的には、原点に返ってライオンズクラブは奉仕団体であり、メンバーを増やし、質を高める必要があります。そこで、GLT、つまり将来リーダーを発掘して育成することが役目となります。どのような活動を考えているかというと、一つは 10 月 25 日に次世代リーダーシップセミナーを実施する。これは複合の GLT コーディネーターから要請があり開催するものです。複合のコーディネーターの浜野前ガバナーと私が講師となり、将来リーダーとなりうる人を対象にしたセミナーを実行します。また、11 月 29 日には公認ガイディングライオンセミナーを実施します。そして、会員オリエンテーションを２月１日に実施します。最後に日程は未定ですが５月に CEP ファシリテーターセミナーも考えています。CEP 指導力育成委員会と青少年アカデミー委員会が関連委員会となります。
一年間、自分で満足のいく活動をしたいと思います。

L 阿部）質問ですが、これはコーディネーター主催で開催するのでしょうか。

L 佐久間）一番近いセミナーは複合と地区コーディネーター主催でやります。

L 佐原）FWT コーディネーター阿部 L よろしくお願い致します。

地区 FWT コーディネーター
L 阿部かな子（東京ピース LC）

L 阿部）FWT は（家族及び女性チーム）の略で本来の目的は女性の目線で感性を生かした奉仕活動を創造し、質の高い奉仕を通して会員増強をすることです。女性と男性の比率を 50%にしたいというのが国際本部の方針です。
なぜ、日本だけ FWT という概念が GAT に入っているのかというと、日本はまだ男性主体でなかなか女性会員の活躍の場がない、そして、家族会員がもっと奉仕に参加して頂きたいということです。アメリカなどは女性にスポットを当てなくても既に活躍しているのですが、日本はまだ少し遅れているようで、これをを促すという意味で日本では FWT が入っているのです。会員増強するのに女性が入りやすくて分かりやすいアクティビティを考えて下さいとも言われています。そして、国際協会の考えに沿って８複合を一本化して動いています、つまり、飢餓、視力、糖尿、小児がん、環境という国際協会の方針に基づいて地域の特色を生かしながら奉仕活動に取り組んでいます。例えば、視力に関しては眼鏡の回収を呼びかけていますが、これからはクラブのアクティビティとしてどうですか、ということを啓蒙していきます。また、眼鏡の回収に関してはオーストラリアへの送料の問題がありますが、昨年 332-C 地区の提案で LCIF を使って仙台に眼鏡を回収する工場を作りました。なお、従業員や職人が必要ということで１個につき 50 円を送料と別に取るようにしたので、数が多ければオーストラリアの方が安いということになります。糖尿病に関しては糖尿病の人のための郷土料理のレシピを集めてライオン誌に発表する。それを英訳し女性フォーラム等で和食の糖尿病食として発表するべく進めています。加えて 11 月にグドランＢイングバドター国際第１副会長が来日されるので、この食事を体験して頂いたり、糖尿病の食事を学ぶ会を開く予定です。これらの活動を考えると FWT は女性参画委員会、健康促進委員会と連携するのが本来であると考えています。また、各リジョンに支部クラブを作る要請もあります。支部は５人から１つの奉仕に特化して作ることができるので女性と相性がよい

出席者：地区 GST コーディネーター　L 進藤義夫　（東京世田谷 LC）
地区 GLT コーディネーター　L 佐久間洋一（東京駿河台 LC）
地区 GMTコーディネーター　L 橋本光祥　（東京豊新 LC）
地区 FWTコーディネーター　L 阿部かな子（東京ピース LC）
司　会：広報情報委員会委員長　L 佐原幸雄
広報情報委員会アドバイザー　L 荘英隆
記　録：広報情報委員会委員　L 桂太郎　・ L 飯田容子
写真撮影：広報情報委員会委員　L 津守勝男 ・ L 後藤裕文

ということです。
次に小児がんに対してはヘアドネーション（カツラ用の髪をドネーションする）として、30 センチの長さにゴムで結びますからその長さの髪３０人分で初めてカツラが一つできる。この活動を啓蒙し、広めていきたい。なお、今のところ MD330 で７人分集まっています。先日、子供の居場所でこの話を聞いていた中学２年生の女の子が長い髪をバッサリ切って自分にもできる奉仕があるといって持ってきてくれました。染めてある髪でも白髪でも大丈夫です。

L 佐原）全国８複合地区での打ち合わせはありますか。

L 阿部）毎月ウェブ会議や直接会って会議が開かれています。本来は８複合地区でまとまってやった方がFWTのネットワークをいかせて、多くの結果が出ますからその期のガバナーのためにもなると思います。

L 佐原）では、それに関連してGATについて議論致しましょう。

L 進藤）まずは、それぞれが別にあるのではなく絡んでいるので皆で協力してやるということではないでしょうか。

L 佐原）チームワークを高めるために何かやっていますか。

L 佐久間）GAT チームとして会合を重ねています。

L 佐原）各クラブにチームの一員を設置してもらうという件に関しては各コーディネーターから積極的に働きをしていますか。

L 進藤）FWT と LCIF については各クラブにコーディネーターを置くということが既に告知がされています。ただし、それ以外のコーディネーターについてはこれからということになります。なお、本来はクラブ会長会がその役割を担っているのではないでしょうか。

L 佐原）キャビネットから何か発信する予定はありますか。

L 進藤）既に資料が配布されています。それによるとクラブ内委員長などを設置することになっています。GLT、GMT、そして GST については第一副会長或いは現会長や前会長が役割を担うこととなっています。

L 佐原）荘アドバイザーなにか補足はございますか。

L 荘）今までは会員増強やリーダーシップ育成について他の国には標準的な委員会がなかったようです。そのような中で GLT と GMT が出てきました。今年初めて GST と FWT が出てきて GAT として皆有機的なつながりを持ってほしいという話が出てきた。そこで新しい局面になったということです。日本にはそもそも委員会もあったので、取り組みが難しいだろうと思います。皆さんがどのように協力しあっていくのかが重要となりそうです。

L 進藤）まずは、それぞれ活動しながら徐々に協力しあっていけばいいのではと思います。

L 荘）そうですね。クラブの方は何を求めるかということを考えると、今回 100 周年チャレンジに糖尿病が増えましたが、各クラブではやっていないので、各クラブが奉仕チャレンジに参加することができるようにすることなどが皆さま方の役割ではないでしょうか。

L 進藤）そのような勉強会や通知文書を発行するか地区ニュースに載せるなどの方法が考えられますね。

L 佐原）ここまでのお話でアクションチームとしてのチームワークが大切だということが理解できますね。

広報情報委員会アドバイザー
L 荘英隆

L 進藤）毎回招集をかけるとクラブ負担が大変なので、集まらなくてもいいような手段を考えていければと思います。

L 阿部）そうですね。本来コーディネーターは何かをやるのではなく、クラブに役立つための違う役割を果たすべきではないでしょうか。来年は LCI アプリも立ち上がるので SNS などをもっと活用すべきだと思います。

L 進藤）100 周年のレガシープロジェクトも Facebook なども上手く活用していますね。

L 佐原）そのほかに何か各クラブにお伝えしておきたいことはありますか。

L 佐久間）コーディネーターを選任した直後にコーディネーターが何をやるのかという会合を開いて頂きたいと思います。そうすればより充実した１年になるのではないでしょうか。

L 橋本）GMT としては会員増強がもちろん大事ですが、会員維持も非常に大事なので忘れずにしっかりフォローしていきたいです。

L 進藤）各クラブの方にお伝えしたいのは国際協会からのリクエストに対してご意見もあると思いますが、国際協会はあくまでジャンルをお勧めしているというように理解して、各クラブで新しく素晴らしいアクティビティをそれぞれ考えて取り組んでいっていただければと思います。

L 阿部）男性の力は凄く偉大ですので女性ができる力を認めて頂き活躍できるように、歩み寄りと相互理解が必要だと思います。女性チームとして動いていますが、女性だけに限定している訳ではないのでご理解下さい。

L 佐原）本日はありがとうございました。

座談会メンバー
（写真上段左より　L 佐久間、L 進藤、L 橋本、L 阿部、L 佐原）

委員会だより　会員増強委員会

会員増強委員会メンバー

委員会キャッチフレーズ：

Ask One for Club Five

（各メンバー１名の入会で各クラブ５名の会員増強）

細川ガバナーが宣言した今期の会員増強 1,000 名の目標に向かって、会員増強委員会（委員長：Ｌ高桑昌彦）はひたすらその達成に努力している。
９月 22 日（金）その委員会開催時にオブザーバー参加し、活動の内容をヒアリングした。

高桑昌彦委員長

高桑委員長：７月スタート時は全国 35 準地区でワースト１であったが、８月に入って 50 名ほどの新入会員があり、８月の新入会員は全国ＮＯ１であったことが決定した。
７月、８月の純増クラブ３位までアワード贈呈することがキャビネットにおいて決定した。

会議の様子

自クラブの状況を語る小方委員
（東京八王子いちょうLC）

1位	東京山王ライオンズクラブ	純増 17 名
2位	東京蒼天ライオンズクラブ	純増６名
2位	東京新宿北ライオンズクラブ	純増６名
3位	東京芝ライオンズクラブ	純増５名

（以下　数寄屋橋４名、ピース３名、浅草３名、調布３名、三鷹３名、横田３名）

和やかな会議

さらに各クラブの会員増強を後押しするために、10 月 30 日（月）に「会員増強拡大シンポジウム」を開催することとした。

「 会員増強拡大シンポジウム 」のご案内

(必ずメンバーの会員増強のヒントが見つかる)

1．日　時　2017 年 10 月 30 日（月）
13 時 00 分～ 15 時 00 分（登録受付 12 時 30 分～ ）

2．場　所　東京都赤十字血液センター４階 会議室
東京都 新宿区若松 12-2　電話：03-5272-3511

3．登録料　１名 2,000 円（当日徴収）

YCE関連報告

6.4.2017　第13回青少年英語スピーチコンテスト

2017年6月4日（日曜日）、新宿の京王プラザホテルで第13回青少年英語スピーチコンテストが開催された。　応募者約40名のうち、書類選考で選ばれた20名が各人5分間の持ち時間で、課題のテーマについてスピーチを行った。　会場では約130名の聴衆者が熱心に発表者のスピーチに聞き入り、今年度は盛大なコンテストとして開催された。

審査の結果、東京都知事賞は都立豊多摩高校3年生の梅元直輝君、地区ガバナー賞は都立小平高校1年生の太田さん、ＹＣＥ委員長賞は聖和学院高等学校1年生の横手さんが受賞した。都知事賞受賞の梅元君には副賞として、来夏アメリカ・カリフォルニア州へのＹＣＥ交換学生として派遣の機会が授与された。

報告：ＹＣＥ委員会委員長　Ｌ須藤 修

東京都知事賞　都立豊多摩高校　梅元君

ＹＣＥ委員長賞　聖和学院高等学校　横手さん

コンテスト参加者およびＹＣＥ委員会関係者

9.10.2017　YCE派遣生帰国報告会（2016-17年度）

ＹＣＥ派遣生およびＹＣＥ委員会関係者

ＹＣＥ派遣生の帰国報告

8月6日(日)成田空港を出発

2016～2017年度　330Aから10名の派遣をした。冬期マレーシア2名　春期タイ1名　夏期　ＭＤ4カリフォルニア6名。台湾1名。カリフォルニアへの派遣生は8月6日に出発、一週間のキャンプ、その後ホスト家庭での滞在を経験して8月29日に全員元気に帰国。9月10日（日）京王プラザホテルにおいて、2016～17年度ＹＣＥ派遣生帰国報告会が開催された。

2016～17年度派遣生のうちの当日参加者7名が発表を行い、それぞれがホームステイ先の思い出と自身の今後の人生を考えるうえで受けた影響について語った。その中には今後の進路が決まり、目標に向かって頑張る決意を話す派遣生もいた。総評では今井第1副地区ガバナー、伊賀第2副地区ガバナー、河合元ガバナーがそれぞれに思いを述べ、特にＬ伊賀は自身の体験を重ね合わせ今の自分があるのはかつてのボストンでのホームステイがあったからだと、派遣生たちに強いメッセージを送った。　また細川ガバナー、村木前ガバナーからもお祝いの言葉を派遣生たちにいただいた。

報告：2016～17年度ＹＣＥ委員会

LCIF & 会長会

8.3.2017　Dr. L 山田實紘 LCIF セミナーを開催

2017 年 8 月 3 日（木）13:00 ～ 15:00 に京王プラザホテル 5 F コンコードボールルームにおいて「Dr.L 山田實紘 LCIF セミナー」が開催された。当日は地区メンバー約 200 名が参加、伊賀則夫 LCIF 推進委員長の司会により進行、細川ガバナー、中村国際理事の挨拶に続き山田實紘前 LCIF 理事長（元国際会長）が約 60 分の講演を行った。内容は LCIF の使命と実績の説明、LCIF クラブコーディネーターの選任について、クラブコーディネーターの役割・地区コーディネーターとの連携、それから新たに国際協会の組織に加わった GST（グローバル･サービス･チーム）の役割･意義についても言及があった。その後に、当地区で LCIF 累計献金額上位の山浦元国際理事（東京新宿 LC）、L 中村善子（東京成城 LC）の２名、それから LCIF 推進委員会委員の L 五十嵐一嘉（東京新橋 LC）、L 井桁秀夫（東京江戸川南 LC）の２名がそれぞれの LCIF 献金への取り組みについてスピーチを行いセミナー参加者に感銘を与えた。最後にリジョンごとに 2016-17 年度 MJF 献金者の表彰と記念撮影が行われ閉会となった。

報告：広報情報委員会

Dr. 山田實紘
前LCIF理事長の講演

LCIF 推進委員会委員長
L 伊賀則夫

LCIFセミナー　8月3日（木）　京王プラザホテル

2016-17 年度 MJF 献金者表彰（1 リジョン）

写真左から　Dr. 山田實紘前LCIF理事長、中村泰久国際理事、
山浦晟暉元国際理事、大石誠 LCIF 東日本エリアコーディネーター

8.29.2017　第１回クラブ会長会を開催

第１回クラブ会長会が８月 29 日赤十字血液センター会議室で開催された。地区内１３５クラブの会長をはじめ、RC,ZC、各委員会委員長、キャビネット幹事団と合わせて約１８０名が出席した。まず、細川ガバナーは、特に今期の主要行事についての説明を重点的に行い、各クラブへ協力を依頼した。次に谷山キャビネット幹事より、ガバナー公式訪問、環境シンポジウム、ライオンズソング・コンペティションなどについて概要報告があった。その後、各委員会委員長およびコーディネーターから重要事項・行事について説明が行われ、質疑応答の後、終始和やかなうちに閉会となった。（報告：広報情報委員会）

会議に出席の各クラブ会長

第１回クラブ会長会　赤十字血液センター会議室

難病と闘うあやめちゃんの心臓移植の為の募金活動

テーマ:献腎・献眼
於 数寄屋橋交差点

YCE 委員会 /1R3Z東京蒼天 LC 共同開催

8/5(土)

８月５日土曜日数寄屋橋交差点にて、メンバーである佐々木幸輔Ｌの娘あやめちゃんがアメリカで心臓移植を受ける為の募金活動を実施しました。あやめちゃんは、『左室心筋緻

密化障害』という難病を患い、現在の医学で元気な姿に戻るためには、アメリカでの心臓移植の他に道はありません。当日は、猛暑の中、多数のクラブからのご参加とご支援・ご協力をいただき募金活動を実施することができました。皆様のあたたかい気持ちのおかげで、519,081 円の募金をお預かりしました。この募金は即日「あやめちゃんを救う会」に振込させていただきました。感謝の気持ちで一杯です。

あやめちゃんが海外で心臓移植を受ける為に

は、まだまだ資金が不足しております。

引き続き皆様のご協力ご支援よろしくお願いいたします。https://ayamechan.com/

（レポート：東京蒼天 LC　Ｌ丸井一弘

献血・献眼・献腎・骨髄移植委員会　Ｌ川島富美子）

昭島市民くじら祭

テーマ:復興支援及び青少年健全育成
於 昭和公園陸上競技場

13R1Z東京昭島 LC

8/5(土)～ 8/6(日)

8/5(土) ～ 8/6(日) に昭和公園陸上競技場（昭島市）にて「昭島市民くじら祭」が開

催され、東京昭島 LC ではヨーヨー釣り、ダーツ、ラッキーボールの模擬店を出店しました。５日（土）夜にはネッツ多摩昭島スタジアムにおいて約 2000 発の花火を打ち上げました。約５万人の観衆が夏の夜空に打ち上がる夢花火を楽しみました。６日（日）にはお笑い芸人のライブも開催され会場は大いに盛り上がりました。お祭りには約５万人の来場者が訪れ、ライオンズクラブの宣伝に繋げました。模擬店の収益金は東日本復興支援および

青少年健全育成の資金に充当します。

（レポート：東京昭島 LC　第一副会長　Ｌ関 飛雄一）

農園で採れた野菜を子供食堂へ

テーマ:青少年健全育成
於 郊外農園

10R2Z東京三軒茶屋 LC

8/6(日)

東京三軒茶屋ＬＣでは年に数回、メンバーが管理する郊外の農園でアクティビティ例会を開催しており、家族会員や賛助会員も含めみんなで畑の手入れや収穫をしています。今回はたくさんのジャガイモのほか、ナス、ミニトマトや夏みかんも収穫しました。採れた野菜は子供食堂や児童養護施設へ寄付する活動を続けております。

（レポート：東京三軒茶屋 LC　第一副会長　Ｌ福島和正）

東日本大震災復興支援、宝塚観劇アクティビティ

テーマ:復興支援
於 東京宝塚劇場

1R2Z 東京ピース LC　8/9（水）

４年間続く東日本大震災復興支援、宝塚観劇アクティビティ。取りにくいプラチナチケット席を確保。観劇後には 懇親会で親睦を深め、ノンライオンの方々にもライオンズクラブの活動を知って頂いております。この収益は、東日本大震災復興支援アクティビティに使用されます。（レポート：東京ピースLC　幹事　L山口真功）

赤坂氷川公園へ時計塔寄贈

テーマ:レガシープロジェクト
於 赤坂氷川公園

3R3Z 東京赤坂 LC　8/9（水）

東京赤坂 LC がライオンズクラブ 100 周年のレガシー・プロジェクトとして、またクラブ結成 55 周年記念を兼ね寄贈した赤坂氷川公園時計塔の寄贈式が、当クラブメンバーでもある細川孝雄 330-A 地区ガバナーも参加し行われた。今後もこの公園が地域に長く愛されそしてこの時計塔がそれを見守っていってくれることを願っている。
（レポート：東京赤坂 LC　広報・ＰＲ委員長　L湯川麻美子）

玉川地域少年野球大会にてホームラン賞贈呈

テーマ:青少年健全育成
於 野毛公園

10R2Z 東京玉川 LC　8/11（金）

当クラブ 45 年の継続アクティビティとなっている恒例の世田谷地区小学生の野球大会決勝戦が８月 11 日に野毛公園で開催。　玉川 LC より大原 ZCP、馬場会長、野々幹事、L鈴木が参加し、ホームランバッター全員へメダルの授与を行なった。
（レポート：東京玉川 LC　会長　L馬場久雄）

クラブアクティビティの記事においては、投稿された記事の原文を優先しています。よって呼称など統一されていない箇所がありますが、ご理解よろしくお願い致します。

社会福祉法人福田会支援、納涼例会

テーマ:社会福祉
於 浅草駒形屋形船

2R3Z東京山王 LC　8/21(月)

8 月 21 日に東京山王 LC 納涼例会が浅草駒形の屋形船にて行われた。お天気にも恵まれ、

多くのメンバーが浴衣や夏着物で集まり、夏気分を味わうことができた。
東京山王 LC のメンバーの他、スポンサークラブの東京石泉 LC、兄弟クラブの東京光が丘 LC、遠方より仙台青葉 LC、そして交友のある東京数寄屋橋 LC、東京世田谷 LC よりゲストを迎えた。今回のドネーションの一部は、社会福祉法人福田会（児童養護施設や障がい児入所施設を運営）主催のわいわい祭り出店での収益と合わせて、福田会様へ寄付する。（レポート：東京山王 LC　幹事　L 塚松卓也）

納涼例会

テーマ:納涼例会
於 高尾山ビアマウント

12R2Z東京町田クレインLC　8/22(火)

8 月盆も終わり、夏真っ盛りの後半戦！　新入会員も加わり、賑やかに高尾山で納涼例会を行いました。　雨が続いた記録的な 8 月なのに、この日だけは綺麗な夜景を見ることが出来ました。
秋に向けてWe Serve！！
（レポート：東京町田クレイン LC　会長　L 志村容一）

町田市体育協会永年賛助会員表彰

8/26(土)

テーマ:青少年健全育成
於 町田市立総合体育館

教育市民・青少年育成の継続アクティビティの成果として、先月 8 月 26 日（土）に町田市体育協会より表彰されました。長きにわたり続けてきたアクティビティ。思いがけない喜びでした。マンネリ化していた継続事業もこれを節目に新たにウィ・サーブ！
（レポート：東京町田クレイン LC　会長　L 志村容一）

未来へ ～心を繋ぐ音楽の輪～

テーマ:震災復興支援
於 宮城県名取市閖上中学校及び箱塚屋敷仮設住宅集会所

1R3Z 東京蒼天 LC　8/27(日)～ 8/28(月)

8 月 27 日 28 日　宮城県名取市閖上中学校と箱塚屋敷仮設住宅集会所にて、八王子富士森高校吹奏楽部 80 人の生徒と演奏会を開催した。東京蒼天 LC・東京八王子陵東 LC・東京尾張町 LC、3 クラブ合同アクティビティ (東京新世紀 LC からも参加)。

先ずは、ゆりあげ港朝市にて桜井理事長が津波の恐怖体験談、防災についての心構えを講演。次に、八王子富士森高校吹奏楽部の生徒達と交流会が行なわれた。その後、日和山で震災犠牲者の冥福を祈り献花して黙祷を捧げ、箱塚屋敷仮設住宅集会所でミニ演奏会が行われた。最後は、ふるさとの歌詞を閖上にかえて熱唱し感動的な時間を過ごした。
28 日は閖上中学校の仮設体育館にて【未来へ～心を繋ぐ音楽の輪～】と題して演奏会が行われた。現在、閖上中学校の生徒数は 55 名となったが、楽しそうな笑みがこぼれ、軽快な手拍子等で大変盛り上がり、あらためて音楽の力の凄さを感じた。最後は、高校生と関係者全員でまた会う日までを大熱唱し、感動で目頭が熱くなった。
（レポート：東京蒼天 LC　会長　L 丸井一弘）

社会福祉法人福田会支援　フラワーアレンジメント講習会

テーマ:障がい者支援

2R3Z 東京山王LC　9/5(火)

9月17日に行われる広尾の社会福祉法人福田会（児童養護施設や障がい児入所施設を運営）主催のわいわい祭りで販売するため

の、ハーバリウム（ボトルフラワー）と、枯れないフラワーアレンジメントをメンバーであるドイツフローリストマイスターのＬ堀江の監修により、メンバー及び有志で作成した。17日のわいわい祭りは近隣住人など600～800人が集まる。東京山王LCからは、有志も含め総勢30名で参加予定。
青森名物黒石やきそばの出店と、フラワーアレンジメントの販売の他、児童養護施設の子供たちと一緒にゲームコーナーで輪投げ、ヨーヨー釣り、地元広尾商店街のポップコー

ンや綿あめなども担当する。　お祭りでの収益は、全て福田会様へ寄付する。詳細は、東京山王ＬＣのページに掲載。
https://www.facebook.com/tokyosannolc/
（レポート：東京山王LC　会長　Ｌ大川あつ子）

社会福祉献血奉仕会場奉仕

テーマ:献血
於 ＪＲ錦糸町駅南口ロータリー

4R1Z 東京隅田川 LC　9/10(日)

ＪＲ錦糸町駅南口ロータリーにて献血会場支援奉仕が実施された。クラブメンバー９名の参加・協力のもと、心のこもった呼びかけで街行く方々の協力を得ることができた。熱い日差しの中、メンバーたちの熱心な声がけで、献血申込者は60名に上った。そのうちの51名の採血が無事行われ実りの多い一日となった。
（レポート：広報情報委員会　Ｌ田下一雄）

第 10 回薬物乱用防止教室

テーマ:薬物乱用防止
於 港区立御田小学校

3R2Z東京麻布 LC　9/14(木)

上東京麻布LC主催第10回薬物乱用防止教室が村山景子会長の自宅である三田の「玉鳳寺」で多数のメンバーの参加のもと開催された。港区立御田小学校６学年の生徒60名が野田智子副校長をはじめ３名の担任の先生方の引率のもと講話が行われた。
当クラブの薬物乱用防止認定講師であり「玉鳳寺」の住職であるＬ村山正己の巧みな話術に生徒たちは時の経つのも忘れ聞き入っていた。

当地区には薬物関係の事案が多発した事もあり先生も真剣にメモを取りながら参加した。また、生徒の中には公務員になり環境問題に取り組みたいと頼もしい希望を持った生徒もいた。

教室終了後は参加メンバー全員で今回の評価と反省点などを話し合い散会した。
（レポート：東京麻布LC　幹事　Ｌ戸田一郎）

クラブアクティビティ報告

社会福祉法人福田会わいわい祭り支援

テーマ:障がい者支援
於 福田会わいわい祭り

2R3Z東京山王 LC　9/17(日)

児童養護施設「広尾フレンズ」や知的障がい児施設「宮代学園」を運営する、社会福祉法人福田会様主催の「福田会わいわい祭り」に、東京山王 LC のメンバーと有志の総勢 28 名で参加いたしました。

東京山王 LC のブースでは、青森名物「黒石やきそば」の提供と、フラワーアレンジメントの販売。　また輪投げやヨーヨーのブース、ポップコーンや綿あめのブース、ポーランドのお菓子を販売するブースのお手伝いもいたしました。福田会後援会長である安倍昭恵夫人も、朝から夕方まで応援をしてくださいました。輪投げ、ヨーヨーのブースは、述べ 300 人以上が参加。社会福祉法人福田会様に 112,000 円を寄付させていただきました。

今回、子供たちと直接ふれあい、楽しんでもらえたことは、参加したメンバー全員の大きな喜びになったと思います。

(レポート:東京山王ＬＣ　会長　Ｌ大川あつ子)

国立市少年サッカー大会 ライオンズカップ(1・2年生の部)

テーマ:青少年健全育成
於 国立市多摩川河川敷グランド

13R1Z東京国立 LC　9/18(月)

2017 年 9 月 18 日、国立市多摩川河川敷グランドにて、「市制 50 周年記念 国立市民少年サッカー大会ライオンズカップ (1・2 年生の部)」が台風一過で天候に恵まれた中、12 チーム 80 名参加で開催されました。東京国立LCでは、毎年青少年育成事業の一貫として、国立市サッカー協会への支援をさせて頂いてます。本年は、国立市制 50 周年の記念大会として開催されました。

子どもたちは、日頃の訓練の成果を描かんなく発揮しており、素晴らしいプレーを見せくれました。

東京国立 LC は、これからも地元青少年スポーツを応援して行きます。

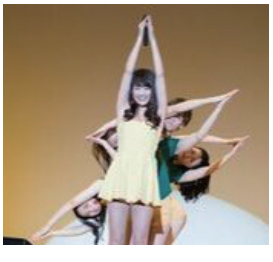
(レポート：東京国立 LC　会長　Ｌ大和 祥郎)

クラブ周年行事

東京平成 LC CN５周年記念 難病のこども支援チャリティコンサート

2R2Z東京平成 LC　5/26(金)

2012 年 5 月 25 日（金曜日）数寄屋橋 LC をスポンサーとして、東京平成 LC が 330-A 地区に誕生しました。ほとんどのメンバーがライオンズ未経験者の中、奉仕活動を模索し続けてまいりました。ようやくメインアクティビティとして難病のこども支援ネットワークへの支援活動が定着し、我々も他に対し、メインアクティビティとして報告出来るようになってきたと思われます。



周年行事は通常ホテルなどを使いますが、我々は表題のようにチャリティコンサートスタイルで行いたいと考え、実施させていただきました。「難病のこども支援全国ネットワーク」よりも子供たちをご招待し、ライオンズメンバー、一般の方々にご来場いただき、無事に終了することが出来ました。

(レポート：東日本・熊本復興支援特別委員会副委員長　Ｌ坪谷 茂)

東京江戸川南 LC『CN50周年記念式典』を開催

5R2Z 東京江戸川南 LC　6/2（金）

６月２日（金）江戸川区船堀のタワーホール船堀において、東京江戸川南 LC『CN50周年記念式典』が開催されました。当日の参加者は 255 名と盛大で、村木ガバナーから 50 年間のアクティビティを称賛するご挨拶と新入会員にピンバッジをいただき、山浦元国際理事からは井桁会長（MJF 献金 16 回）とＬ岩楯啓次（在籍 50 年）に国際会長感謝状の贈呈。厳粛に式典を終えた後の宴会は、“浅草サンバ”→“伊達めぐみ”さん（蒼天 LC）の歌で大盛上り→全員参加で“東京音頭の輪踊り”と、大騒ぎしてお開きとなりました。ご参加いただきました皆様、大変、お疲れ様でした。

（レポート:東京江戸川南LC　会計　Ｌ根津　万寿夫）

東京赤坂 LC 結成55周年記念式典

3R3Z東京赤坂 LC　6/4（日）

東京赤坂 LC 結成 55 周年記念の会が、東京プリンスホテル鳳凰の間で開催された。フィリッピン サンパブロシティ LC 及び、台湾の台南第一獅子会からの来賓を含め各地から 299 名が参加した。

記念アクティビティーは、① 100 周年記念事業として、港区氷川公園へ時計塔の寄贈　②港区公立小学校に「学校安全 DVD」寄贈・防災チャレンジ運動会の実施　③サンパブロ市立 Sto. Nino Elementary School にテレビモニターの寄贈　④日本カーディアン･エンジェルス支援とした。そして、華道の池坊保子様の素敵な記念スピーチや、祝宴では、大谷祥子様をリーダーに魅惑の琴のコンサートの中、和やかで、活気あふれる記念式典だった。

（レポート：東京赤坂 LC　Ｌ田中隆三）

東京渋谷 LC CN60周年記念の夕べ

10R1Z東京渋谷 LC　6/19（月）

「東京渋谷 LC ＣＮ 60 周年記念の夕べ」が、姉妹提携先のハワイ･リワードオアフＬＣ及び福島いわき LC を含めて 265 名が参加して開催された。長谷部健渋谷区長・村木ガバナー・山浦元国際理事の祝辞に続き、クラブメンバーのＬ石原伸晃（経済再生担当大臣）が挨拶をし、記念アクティビティとして、災害に備えてのシブヤ・アロープロジェクト、いわき放射能測定室（たらちね）モンゴル国立母子病院など７件を発表した。祝宴に先立ちメンバーのＬ松前弘子（演歌歌手）が３曲を披露した。祝宴では、メンバーのＬ小川清正のバンド演奏があり好評であった。爽やかさと団結の力が次なる 70 周年・80 周年へのパワーとなることを信じ、さらにクラブ運営・奉仕活動への邁進を誓った。

（レポート：東京渋谷 LC　ＣＮ実行委員長　Ｌ中野 了）

キャビネット関連報告
委員会セミナー等告知

5/28(日) 東日本復興支援お笑いステージ「南三陸志津川会場」報告書

ー東日本・熊本復興支援特別委員会ー　於 南三陸プラザ

「ルミネ・ザ・よしもと　チャリティお笑いライブ」にて皆様よりご協力頂きましたドネーションを元に、３月 28 日に熊本県南阿蘇村にて「こども相撲教室」、４月９日気仙馬にて「チャリティお笑いライブ」に続きまして最終イベントとして５月 28 日南三陸プラザにて「チャリティお笑いライブ」を行ってまいりました。332-C 地区、並びに南三陸志津川 LC のご協力のもと、約 200 名の参加者が会場を訪れ賑やかなものとなりました。南三陸志津川の佐藤町長、南三陸志津川 LC の佐藤会長、田畑元議長、村木ガバナー、河合委員長など

のご挨拶の後、若手芸人がそれぞれネタを披露し、メインであるコウメ太夫のネタとなりました。最後に大喜利を全員で行い、ライオンズメンバーの方や、お客様にも参加していただき、沢山の笑顔に囲まれて記念撮影をして無事終了しました。

6/2(金) アイバンクセミナー（サポーター講習）

ー献血・献眼・献腎・骨髄移植委員会ー　於 東京都赤十字血液センター会議室

平成２９年6月1日１３時より、東京都赤十字血液センター会議室にて、献血・献眼・献腎・骨髄移植委員会によるアイバンクセミナー（サポーター講習会）が開催された。奈良橋副委員長司会のもと、村木ガバナーの挨拶、ご来賓の挨拶ののちに、東京都赤十字血液センター部長　瀧川正弘氏による「献血現状報告」があった。まず初めに、実際に急性リンパ性白血病になり数多くの輸血を受けてきた女優「友寄　蓮」さんによる実話のＤＶＤを鑑賞し、鑑賞後に最近の献血事情を伺った。献血協力者数が２０年前に比べて減少している、そして３０歳代以下、特

に１０歳代以下の献血率が大きく減っているそうだ。第二部では日本アイバンク協会常務理事で日本大学名誉教授の澤充先生による講演があった。
（レポート：広報情報委員会）

6/10(土) レガシープロジェクト薬物乱用防止大パレード時計塔贈呈式式典

ーキャビネットー　於 数寄屋橋交差点

東京数寄屋橋交差点交番となりにて、ライオンズクラブ国際協会創設 100 周年記念「レガシープロジェクト薬物乱用防止大パレード時計塔贈呈式式典」が開催された。
中央区長 矢田美英氏、330-A 地区Ｇ村木秀之、LC 代表国連薬物担当大使・元国際理事Ｌ山浦晟暉、百周年記念 330 ＭＤコーディネーター・元地区Ｇ・名誉顧問Ｌ富田純明、元地区Ｇ・名誉顧問Ｌ菅原雅雄らによるテープカットが行われた。
主催者挨拶でＧ村木秀之は、「この時計塔が数寄屋橋界隈の待ち合わせ場所の一つとして

市民に利用してもらいたい」と述べ、昨年 10 月に LC100 周年を祝い開催された薬物乱用防止大パレードの記録を残した。
大パレード記念時計塔は、次の 100 年に向けて LC 発展の時を刻んでいくであろう。
（レポート：広報情報委員会）

6/10(土) 第１０回ドレミファダンスコンサート（東京都障害者ダンス大会）

ー障がい者・社会福祉委員会、東京麹町 LC、東京キング LC、東京表参道 LC ー　於 東京体育館

渋谷区千駄ヶ谷の東京体育館にて、第 10 回ドレミファダンスコンサート（東京都障害者ダンス大会）が約 6,200 名の観客、ダンサー、スタッフが集まり開催された。障がい者の皆さんと保護者、ボランティアそして学生がダンス、音楽を通して楽しく交流し、自己表現することを目的としたアクティビティ。（共催：麹町、キング、表参道ＬＣ）

第１部は、原宿の五輪橋から明治通りへ、千駄ヶ谷駅に至る 1.7 キロを「全国障害者交通安全運動」と「第 10 回ドレミファダンスコンサート」のＰＲするためパレードした。警視庁音楽隊、國學院大學体育連合会吹奏楽部、拓殖大麗澤会総務局吹奏楽部、青山学院大学友会吹奏楽部バトントワリング部が梅雨の晴れ間軽やかに行進した。

第２部、14 時からのダンスコンサートには、秋篠宮紀子さま、佳子さまの御臨席を賜り、また式典では小池百合子東京都知事が出席、開催の祝辞を述べた。

参加者はこの日の為に練習したダンスを元気一杯、笑顔で披露し、コンテストではなくお互いを認め合い、讃え、表現するステージを楽しんだ。

リズムに乗って身体を動かす姿をカメラに収める保護者が多く、３年後の東京パラリンピックへ向け社会の変化を感じ、LC メンバーが皆で汗をかき、手作りアクティビティの原点を垣間見た第 10 回ドレミファダンスコンサートだった。

（レポート：2016 － 17 広報情報委員会）

7/12(水) 九州北部豪雨災害・被災者支援義援金の募集開始

ーキャビネットー

2017 年７月５日から６日にかけての福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨による河川の氾濫、土砂崩れにより福岡県朝倉市、東峰村、それから大分県日田市で大きな災害が発生した。住宅被害は福岡県と大分県の合計で、全壊 288 棟、半壊 1079 棟となっている。（９月８日現在、消防庁による）

シカゴ国際大会終了後すぐの出来事であったが、地区キャビネットおよび緊急対策・復興支援委員会は緊急に打ち合わせ重ね、翌週の７月 12 日より被災者支援のための義援金の募集を開始、各クラブに対しても被災者支援の募金活動を呼びかけ、下記のように貴重な支援をいただいた。

地区ガバナー細川孝雄　「ご協力いただいた各クラブ、メンバーの皆様に感謝申し上げます」

資料・画像：国土交通省九州地方整備局

2017 年８月 31 日までにお預かりした
九州豪雨災害支援金総額　3,946,605 円
（明細は地区ホームページ　http://330a.jp/　に掲載）

次のように被災地に送金

８月　４日	330 複合地区経由 337 複合地区へ	350,000 円
８月 31 日	337 複合地区へ (337-A 地区指定)	1,798,302 円
８月 31 日	337 複合地区へ (337-B 地区指定)	1,798,303 円
	(送金合計	3,946,605 円)

7/24(月) 第１回キャビネット会議

ーキャビネットー　於 東京プリンスホテル

東京プリンスホテルにおいて第１回キャビネット会議を開催した。キャビネット構成員110名のうち100名が出席、232名のオブザーバーと合計で332名の会議となった。

細川孝雄地区ガバナー挨拶に引き続き、議事として今期のガバナー基本方針の発表、ガバナー提出案件などの審議を行った。次に報告事項として国際協会の役員、公式訪問スケジュール、11月の台湾、高雄・台南での第56回OSEALフォーラムなどの報告を行った。細川ガバナーの今期の重要テーマは「環境問題」で、メインのイベントは環境シンポジウム（10月７国立オリンピック青少年総合センター）、フジコヘミング・チャリティコンサート（12月１日 東京オペラシティコンサートホール）それから年間を通じて行うライオンズソング・コンペティションである。

7/28（金）キャビネット事務局 新事務所竣工式・落成披露

ー組織連携・再編検討委員会および330-A地区支援会ー　於 キャビネット事務局

８月７日（月）よりキャビネット事務局の業務を新事務所において開始しました。
キャビネット事務局は新事務所への移転作業を８月４日（金）～５日（土）の２日間で完了しました。

2017年７月28日（金）10：00～12：00に新宿区北新宿の新事務所において前期・今期のキャビネット関係者、組織連携・再編検討委員会および330-A地区支援会による新事務所竣工式・落成披露が行われました。池田和司委員長および西山アドバイザーによる進行、近隣にある鎧神社の神職による神事により当地区の繁栄と安全を祈願し、その後に関係者による落成披露を行いました。

8/8(火) 東日本・熊本復興支援特別委員会報告

ー東日本・熊本復興支援特別委員会ー　於 南三陸町

2016-2017年度に東日本・熊本復興支援特別委員会の活動として、メンバーの皆様にも大変ご協力頂きました「ルミネ・ザ・よしもとチャリティお笑いライブ」の資金にて、前期３月に熊本南阿蘇村にて「チャリティこども相撲教室」、４月に気仙沼にて「チャリティお笑いステージ」、５月に南三陸志津川にて「チャリティお笑いステージ」を開催させて頂きました。収支は若干の余剰金が出ました。

そこで、村木前ガバナー及び前期第４回キャビネット会議にてご承認いただき、剰余金を有効に使わせていただくべく、南三陸町に掛け時計を２台贈呈させて頂きました。
最終会計報告は第二回キャビネット会議に提出いたします。
（2016～2017）東日本・熊本復興支援特別委員会委員長　Ｌ河合悦子

8/26（土）～ 8/27（日）原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2017

ーキャビネットー　於 原宿表参道元氣祭スーパーよさこい 2017

８月 26 日、27 日、表参道アベニューからＮＨＫ前ストリートまで利用した広大な会場でスーパーよさこい 2017 が開催された。全国から 106 チーム約 6,000 名の踊り子が参加し、延べ 80 万人以上動員（推定）した大イベントであった。東京表参道ＬＣを中心に結成されたライオンズクラブ代表チームは 100 周年の大旗を掲げ、２日間を踊りきった。

26 日の原宿口ステージには、よさこいの衣装を着た細川ガバナーが登場し会場を盛り上げた。会員増強のための広報活動としても大いに成果が期待されるアクティビティとなった。（レポート：広報情報委員会）

9/7（木）オリンピック・パラリンピック支援委員会が担当大臣を表敬訪問

ーオリンピック・パラリンピック支援委員会ー　於 大臣執務室

９月７日（木）にオリンピック・パラリンピック支援委員会メンバー総勢 17 名が東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当国務大臣である鈴木俊一氏、前大臣である丸川珠代氏を執務室に訪問。ライオンズクラブとしては主にパラリンピックの支援をする旨伝えた。両氏からはライオンズクラブの支援と関心は大変ありがたく、今後も引き続き支援をお願いしたいとの要望があった。

100 周年記念誌委員会
編集副委員長　Ｌ向井忠義

9/7（木）難病と闘うあやめちゃんの心臓移植の為の募金活動

ー社会福祉・障がい者支援委員会ー　於 八王子駅北口マルベリーブリッジ

９月７日木曜日八王子駅北口マルベリーブリッジにて、難病と闘うあやめちゃんがアメリカで心臓移植を受ける為の募金活動を実施した。あやめちゃんは、『左室心筋緻密化障害』という難病を患い、現在の医学で元気な姿に戻るためには、アメリカでの心臓移植の他に道はない。当日は、天気の悪い中、東京芝 LC・東京神宮 LC・東京府中 LC・東京調布 LC・東京立川 LC・東京八王子中央 LC・東京八王子高尾 LC・東京八王子いちょう LC・東京青梅 LC の皆様のご参加とご支援・ご協力をいただき募金活動を実施することができた。八王子の皆様のあたたかい気持ちのおかげで、６４９，４２２円の募金をお預かりした。この募金は翌日朝「あやめちゃんを救う会」に全額振込んだ。

社会福祉・障がい者支援委員会　委員長　Ｌ後藤義英

表紙説明

手前に東京ゲートブリッジ、その向こうに東京臨海風力発電所、海の森公園、遠くに丹沢山地とその上に富士山を望む。　2010 年 3 月 23 日に当時の地区環境委員会が主催した（海の森プロジェクトの推進者であった建築家) 安藤忠雄氏の環境リーダー養成講座での講演をきっかけとして、クラブではまず東京山手 LC、それから東京三軒茶屋 LC が 2010 年秋より「海の森植樹活動」「植樹用苗木づくり」に取り組み、さらに地区環境委員会主導で地区ぐるみでこの植樹活動に取り組むこととなった。その当時は雑草に覆われた埋立地特有の荒れ地であったが、現在は写真に見えるように緑の森に覆われている。2020 年東京オリンピックまでに完成する海の森水上競技場（ボートコース）が隣接し、真夏に開催のボート競技の観客・選手に涼風を送ることが期待される。

主要行事予定

■ キャビネット会議 ※時間については変更となる場合があります。
第 2 回 2017 年 11 月 13 日（月）会議 13 時 30 分～ 16 時 30 分（予定）＝ AP 西新宿（予定）※キャビネット構成員（110 名）
臨時第 1 回 2018 年 1 月 29 日（月）会議 13 時 30 分～ 16 時 30 分（予定）＝東京プリンスホテル 賀詞交歓会 17 時 00 分～ 19 時 00 分（予定）
第 3 回 2018 年 3 月 12 日（月）会議 13 時 30 分～ 16 時 30 分（予定）＝ AP 西新宿（予定）※キャビネット構成員（110 名）
第 4 回 2018 年 6 月　4 日（月）会議 13 時 30 分～ 16 時 30 分（予定）＝東京プリンスホテル 懇親会 17 時 00 分～ 19 時 00 分（予定）

■ 国際会長公式訪問／第一国際会長公式訪問
（2017 年 12 月 10 日（日）13 時 00 分～ 15 時 30 分：学士会館／ 2017 年 11 月 27 日（月）16 時 30 分～ 18 時 30 分：帝国ホテル 本館 2 階「孔雀西の間」

■ OSEAL フォーラム
第56回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラム　2017 年 11 月 17 日～ 20 日 ＝台湾（台南・高雄）

■ 国際大会
第101回国際大会　2018 年 6 月 29 日～ 7 月 3 日 ＝米国、ネバダ州　ラスベガス

■ 年次大会
A 地区（第 64 回）2018 年 4 月 14 日（土）＝東京プリンスホテル
330 複合地区（第 64 回）2018 年 5 月 19 日（土）＝浦和ロイヤルパインズホテル

■ その他
フジコヘミング女史のチャリティコンサート　2017 年 12 月 1 日（金）＝東京オペラシティ　コンサートホール
ライオンズクラブソング・コンペティション（公募）2017 年 10 月 31 日（火）締め切り

地区環境委員会主催の環境保全活動

東京三軒茶屋ＬＣの植樹活動

植樹したばかりの苗木

編集後記

10 月 7 日に細川ガバナーのメインテーマである「環境問題」について環境シンポジウムが開催されました。環境問題に取り組むには長期のビジョンに基づいた継続したアクティビティが必要になると思います。記録によると 50 年以上前の 1965 年に「甦れ東京湾植樹 15 万本」アクティビティが開始。その 7 年後の 1972 年には「夢の島緑化植樹 15 万本」が開始され、それが「海の森プロジェクト」に引き継がれ、非常に長期にわたる植樹活動になっているようです。ライオンズクラブ 100 周年を考えるときに、この「継続は力なり」というアクティビティの基本に立ち戻るのも意義のある事と思います。

広報情報委員会委員長　L 佐原幸雄

クラブアクティビティ・委員会セミナーの予告、報告は、330-A 地区 HP 右上の投稿欄からお願いいたします。330-A　NEWS デジタル版は、過去の地区ニュース 6 年分が掲載されていて他クラブのアクティビティやキャビネット活動の変化を見ることが出来ます。
◆ HP は、「330A で検索」

◆電子版 QR コード

広報情報委員会メンバー
[2017-2018 年度]

L 佐原 幸雄	委員長	（東京みやこ LC）
L 茶谷 彰彦	副委員長	（東京ピース LC）
L 後藤 裕文	副委員長	（東京法政 LC）
L 坂本 純一	副委員長	（東京三鷹 LC）
L 荒牧 知子	委員	（東京 LC）
L 泉　孝之	委員	（東京葵 LC）
L 高　亨叔	委員	（東京銀座 LC）
L 萩　幸旗	委員	（東京ヒルズ LC）
L 田下 一雄	委員	（東京隅田川 LC）
L 篠﨑美千代	委員	（東京ウィル LC）
L 津守 勝男	委員	（東京大森 LC）
L 上辻 利隆	委員	（東京五反田 LC）
L 矢追 秀紀	委員	（東京ウエスト LC）
L 飯田 容子	委員	（東京表参道 LC）
L 桂　太郎	委員	（東京世田谷 LC）
L 大和 祥郎	委員	（東京国立 LC）
L 奥山 貞夫	Adv.	（東京葛飾 LC）
L 赤尾 嘉晃	Adv.	（東京豊新 LC）
L 荘　英隆	Adv.	（東京恵比寿 LC）
L 吉岡　晋	撮影協力	（東京けやき LC）
L 新井 大介	撮影協力	（東京新宿 LC）
L 宇田 英樹	担当副幹事	（東京銀座 LC）

LIONS CLUBS INTERNATIONAL 330-A LIONS NEWS Vol.1　発行人：広報情報委員会 委員長　L 佐原 幸雄
発行：2017 年 10 月　20171031
Copyright 2017-18 330-A Lions Clubs International All Rights Reserved.